

2025年度 宇治市地域自立支援協議会子ども部会活動報告

1. 部会の目的

- ① 不登校児童の増加についての検討・居場所活動としての子どもサロンの運営（月1回）
- ② 障害児支援の地域課題の検討
- ③ 福祉制度や宇治市の資源についての学習

2. 活動概要

不登校児童の居場所活動として、月に1回子どもサロンを開催することになっているが、年度当初より利用者がいなかったため、周知活動として、8月に市内小中学校へ子どもサロンのパンフレットを配架、10月に市内小中学校から各家庭へアプリ配信、11月に子どもサロン体験会を実施し、周知活動に努めた。障害児相談支援事業所や障害児通所事業所、支援学校等が集まり、障害のある子どもたちの地域生活での課題について会議を行う。11月には、教育支援課職員を講師とし、宇治市内における不登校の状況についての研修を行った。

3. 主な参画団体

部会員	障害児相談支援事業所 放課後等デイサービス事業所 児童発達支援事業所 特別支援学校
オブザーバー	地域支援センター 子ども発達支援センター 不登校・ひきこもり支援団体 宇治市社会福祉協議会 児童発達支援事業所
事務局	宇治市障害福祉課
	計 18 団体

4. 今年度の部会開催日及び開催内容

	開催日	開催内容
1	5月12日	今年度の活動計画の確認
2	7月14日	子どもサロン体験会内容について検討
3	9月8日	子どもサロン体験会周知方法について検討
4	11月10日	教育支援課の研修、子どもサロンイベント最終確認
5	11月28日	子どもサロン体験会実施
6	1月19日	子どもサロンについて
7	3月9日	今年度の振り返り・次年度に向けて

5. 現状と次年度以降への課題

今年度は子ども部会では、子どもサロン体験会について、関係者および保護者への周知を行うとともに、実際に体験できる機会を設け、支援内容や雰囲気を知ってもらう取組を実施した。体験会を通じて、参加者からは今後の利用を検討したいといった意見が寄せられ、支援につながるきっかけづくりとなった。今後については、支援へつなげられるよう、仕組みづくりを整理していきたい。また、支援の質向上を目的として、教育支援課による研修を実施した。研修では、不登校や学校生活に困難を抱える子どもへの関わり方、関係機関との連携の重要性について共有が行なわれ、部会員間で共通理解を深める機会となった。今後も、引き続き関係機関との連携を図りたい。

報告者 部会長 放課後等デイサービスmate 島田 愛美